

第8号

ほっとほ〜む

<発行> 社会福祉法人 大阪福祉事業財団 高鷲学園 ☎ 072-953-3881 FAX 072-953-3882
<発行責任者> 園長 瀬川 佳成 Eメールアドレス takawashi@miracle.ocn.ne.jp
〒583-0885 大阪府羽曳野市南恵我之荘2丁目6番20号

希望をつなぐ日々に向かつて

いつもながら、南からの桜の便りを聞きながら、卒業や卒園、入進学準備に慌ただしく過ぎる施設の3月。巣立つ子どもたちとの別れに淋しさを感じながらも、新しく迎える春に何か心はずませる季節でもあります。と、ところが、今年は突然北から大地震の知らせが飛び込みました。一瞬にして家々が壊れ、あらゆるものが大津波に流され、たたくさんの命が奪われ、た。まだいたるところで、救援を求め人々の悲鳴が聞こえ、原発被災による放射能の恐怖が日本中をおおっています。胸が痛くなる3月になりました。

とや悲しいことがあったでしょう。でも、仲間たちや職員と共にひとつひとつ乗り越えて、楽しいこともうれしいことも経験しながら、よくここまで成長してくれたと思います。みんなが最後に残してくれた感謝の言葉を聞きながら、この子らにこそ幸せな人生が訪れることを願うばかりです。

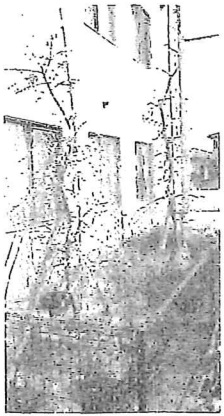
そんな中で、高鷲学園では3月21日「卒園・卒業を祝う会」を開催しました。今年9人の卒園生が、学園の子どもたちや職員、学校の先生方に見送られて、社会に巣立って行きました。2才から16年間の2人を筆頭に、長い施設生活を送った子どもたちが多く、涙、涙の別れとなり、泣きつとたくさんの淋しい生活

ところで、皆さんもご存じのように、昨年暮れからランドセル等を匿名で贈る「タイガーマスク運動」が流行し、児童養護施設が脚光を浴びました。高鷲学園にも、文具やおもちゃ等の物品や寄付金が寄せられています。テレビを見て感銘を受けたと、立派な紅白の梅の木を施設の庭に植えて下さった方もおられます。本当にありがたい限りで、心よりお礼を申し上げます。まだまだ「めぐまれない子ども施設」というイメージで語られる児童養護施設。まったくその通りで、物品の不足と共に、もうひとつ不足しているのが、職員の人数です。大切な子ども

の成長期と育ちを支えるためには、37年間据え置かれていた職員配置基準の見直しでの職員増が是非とも必要です。こちらにも皆さんの力をお貸しください。さて、4月から新園舎での3年目の生活に入ります。卒園や家庭引取による減員で、約80人の児童数でのスタートになりました。児童虐待など子育てが困難な状況が広がっていますし、震災孤児の話も取りざたされていて、今後も入所児童は増えると思われる。「学園で暮らせてよかったわ」という卒園生の言葉を励みに、職員一同、精一杯支援していきます。今年度もよろしくお願いたします。

最後に、子どもたちとともに、東日本大震災で被災された方々にお見舞いと哀悼の意を捧げ、一日も早い復興と笑顔の日々が戻ることを願います。

(園長 瀬川 佳成)

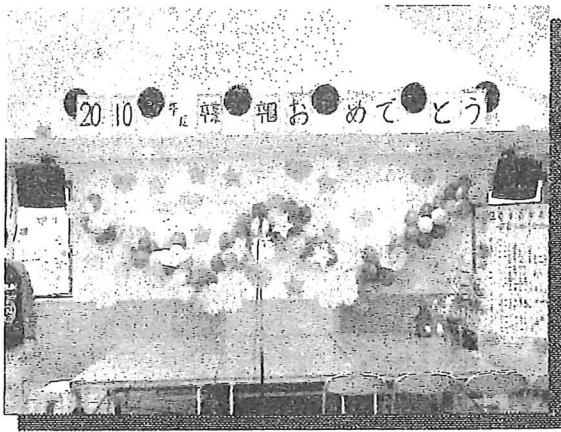


紅白のしだれ梅

今年の特集

2010年度卒業・卒園を祝う会

毎年、3月下旬に高鷲学園では卒園・卒業を祝う会を開きます。今年度は卒園生が9名と幼稚園、小学校、中学校を卒業・卒業する



子が20名の計29名を祝う会となりました。卒園生はみんな就職先等、次に進むべき道を見つけ、巣立っていきました。

就職難と言われており、大阪を出て地方で生活していく児童が数名います。新しい地で、誰かに助けてもらえるのか不安を抱きなが



らも、この日ばかりは学園で過ごしてきた思い出を一緒に成長してきた仲間たちと語り合います。学園のみんなから励まされながら、卒園生の表情はとても明るく、今まで見せなかつたような凛々しい顔をし、「社会に出てもやっといくぞ」という決意を抱いた日でもあったと思います。

(学童ブロック 岡出 多申)

卒園生にみんなから心のこもったメッセージと歌のプレゼント



2010年度



幼児ブロックの春は、入園・入学に期待や不安を抱く反面、別れの時期でもあります。幼稚園を卒業し、小学校入学を機に家庭への引き取りとなるケースもあります。今年度は5名の子どもたちが家に帰ります。保育園や学童保育を利用しながら、お父さん・お母さんが頑張つて育てて欲しいものです。

しかし、学童期に入るこの時期での引き取りがなければ、年齢が進むにつれて、家に帰ることは難しくなります。そして、高校を卒業するまで学園で生活する子どもも少なくありません。

幼児ブロックでの思い出が、その後の子どもたちの大きな糧になつて欲しいと職員が思いをはせる春でもあります。

(幼児ブロック 中村 哲也)

進路のサポート



現在高鷲学園には10名の中学三年生が在籍しています。中学三年生にとっては進路選択という大きな壁があります。それぞれ進路に悩み、周囲の人達からの助言を受けながらも最後は自ら道を切り開いていきました。

学園では、地域の中学校の先生方による『学習会』や、地域の学習ボランティアの方々、学習塾へ通う等、子どもたちが集中して学習へ向かえるように環境を整えてきました。

地域の皆さんに支えられながら、進路へ向かう不安な気持ちを持ち越え、全員が無事に進学先を決めることができました。

これからも地域の皆さんとの関

係を大切にしながら、一つ一つ子どもたちの環境を整えていきたいです。

(学童ブロック 金高 弘行)

中学校を卒業し、春からは高校生



社会への旅立ち



今年9人の卒園生を送り出します。9人全員の就職が決まり、4月から働きはじめます。

児童養護施設に在籍している子どもたちの高校進学率は全国平均を少し下回る程度の水準となっていますが、高校卒業後に大学・短大等への進学率は、全国平均約50%に対して10%程度と厳しい現状です。大学等へ進学できない理由は経済的な保障がほとんどないからです。返済義務のある奨学金を借りても、授業料、家賃、生活費を賄うことは到底できません。

就職では、社員寮など住む所のある職場が卒園生の就職先の前提条件になります。しかし、昨今の長引く不況の中、寮を閉鎖する会社が増え、特に今年就職先を探すのさえ困難でした。寮のある会

皆に見送られて旅立つ卒園生



社に入れなかった子どもたちは、自分で家賃の高い住居を探さざるを得ませんでした。希望する職に就けない子どももいましたが、何とか全員が就職し、住む所も決めることができました。

これから社会へ出て、『自分の力で未来を切り開いていく』卒園生のそんな力を信じて、たくさんの方のサポートとともに社会に送り出したいと思います。

(学童ブロック 矢野川きよみ)

寄付金・寄贈をいただいた方
 (2010年12月23日〜2011年3月20日)
ありがとうございました。
 (敬称略)

寄付金

- M・N (大阪市) K・M (羽曳野市)
- 鉄腕アトム 小西行長
- H・O (羽曳野市) 羽曳野遊技業組合
- 羽曳野市更生保護女性会
- 狭山ハウス管理組合
- Y・N (松原市) K・U (羽曳野市)

寄贈

- ミートよねざわ (鶏肉手羽元)
- ふれあい有志の会 (お菓子)
- 荒木照代 (お菓子) 日本鏡餅組合 (鏡餅)
- 赤瀬宗一郎 (鯛焼き)
- 羽曳野市長サント (お菓子)
- クーリア開発部 (文具類)
- 今西玲子 (お餅) 藤本照雄 (お餅)
- 富田林の伊達直人 (玩具)
- 伊達直人 (文房具)
- 女子大生の伊達直人 (文房具)
- 糊システム21 (カレー)
- 羽曳野市更生保護女性会 (日用品)
- ボランティアSOV (雑巾)
- ミズドルチェ (クッキー)
- 浅田満 (牛ロース肉)
- 糊ニトリ (ランドセル)

財団後援会の更新

入会のお願い

会員の皆さん、いつも子どもたちにあたためたい御支援をありがとうございます。

皆さんのお力で、高鷲学園を支えて下さい。新しく会員となつてくださる方を広く募集しております。新年度となり、既に会員の皆さんは更新をよろしく願います。

一口年間3000円です。

調理ブロック

あつたか鍋



学園では、11月から2月までの間、計8回の鍋料理が夕食に出ます。その8回とも、ちゃんこ鍋に始まり、味噌鍋、中華鍋、キムチ鍋と様々です。

秋も過ぎ、風が冷たくなる頃、自然と子どもたちから「お鍋いつからなん？」という声があちらこちらから聞こえてきます。

そして、待ちにまつたお鍋初日、みんなハイテンションで各テーブルに一つずつのお鍋を囲みます。いつもは10分程で部屋に帰ってしまふ中高生も、麺、おじやまで1時間以上みんなでお鍋を楽しんでいました。

そんな様子を見てみると、周りの大人たちもあつたかい気持ちになります。

(調理ブロック 杉元 直樹)

たかわしこどもまつり 今年も開催!!

来る6月5日(日)に高鷲学園・高鷲保育園にて第47回たかわしこどもまつりを開催します。皆さんご家族・ご近所お誘い合わせの上お越しください。高鷲学園・高鷲保育園一同お待ちしております。



ほっとこと

3月11日に起こった東日本大震災の影響により、ご飯の食材工場や畑がぶれて、食材の入手が少しづつ難しくなってきました。その為、子どもたちには急なメニュー変更や、同じメニューが続くかもしれないこと、合わせて食べ物を大切にしようという話をしました。

今、明かりがついて、3食食べれるってすごく幸せなことだと思えます。学園では職員だけでなく、子どもたちにも募金のお願いをし、少しでも地震の被害に遭った方々に協力できたらと思えます。

(栄養士 山中 教恵)